



＝ 日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2017.11.9 No.284

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>

杉並区議会第三回定例会 決算（H28年度）特別委員会の方針決定

就学援助の入学準備金 前倒し支給実施へ

保護者の切実な声と 党区議団の論戦で実現

杉並区議会第三回定例会決算特別委員会では、就学援助の入学準備金支給時期を入学前に前倒しする方針が決定しました。党区議団が毎回の議会で繰り返し求めてきたものです。

現在、入学準備金は入学後の7月支給になっており、多くの区民から入学前に支給してほしいという声が上がっていました。党区議団は保護者の切実な声を元に、今議会でも前倒し支給を求めましたが、決算特別委員会の質疑において教育委員会は入学準備金の前倒し支給を再来年から段階的に実施することを表明しました。

入学準備金の前倒し支給について 実施・決定している都内自治体

■小・中学校共に実施

北区、武蔵野市、武蔵村山市、西東京市、小平市、日野市、あきる野市、八王子市

■中学校のみ実施

千代田区、新宿区、港区、世田谷区、豊島区、荒川区、文京区、板橋区、足立区、葛飾区

中学校では2019年度分から、小学校では2020年度分から入学準備金の前倒し支給を実施する予定です。

現在、日本全国の党地方議員団が入学準備金の入学前支給の実現に向けて力を尽くしており（右下記事）、杉並区においても実現することになりました。

新入学の子

泣かせない

準備金の入学前支給拡大

経済的に困っている家庭の小中学生が受けている就学援助の一つ、入学準備金（新入学学用品費）について、これまで入学後の7月ごろになっている支給時期を入学前の2～3月に前倒しする自治体が増えています。本紙の調査で少なくとも88の市区町が、ランドセルや制服などの購入で出費がかさむ入学前に変更していることがわかりました。来年4月入学の子どもから始める予定の市区町も24あり、合わせると少なくとも112の自治体に広がります。 →自治体一覧●関連⑥面

100超す自治体

本紙は、地方議会の日誌「新入小」に、全国の自治体に対する調査結果を掲載しています。調査対象は、入学前支給の状況を発表している自治体です。調査対象は、入学前支給の88市区町のうち73が今年4月入学の子どもから実施、このうち11が今年4月入学の子どもから実施、北海道でも実施、東北道では4市町が実施、東

保護者と共産党の運動実る

2017年3月13日付け「しんぶん赤旗」より。保護者と日本共産党の運動が全国で実を結び始めている。

党国会議員団の論戦の成果 就学援助の拡充も実現!

日本共産党は、子どもの貧困が社会問題となる中、全国での保護者などの運動と結んで、就学援助の拡充を求めてきました。それらの国会論戦が実り、文部科学省は、要保護世帯の児童生徒に対する入学準備金について、実態に即し、単価の増額、支給時期も入学前に支給するよう通知を都道府県教育委員会に出しました。

この通知によれば、「援助を必要としている時期に速やかな支給が行えるよう」交付要綱の一部を改正し、小学校入学前も可能とし、単価も今年度から、小学生は1人20,470円から40,600円に、中学生は23,550円から47,400円へ増額されました。引き続き、党国会議員団とも連携し、同資金の増額等、就学援助の拡充に全力を尽くします。

国保の都道府県化 都の試算で、杉並区の保険料は1.25倍に… 法定外繰り入れを継続し、値上げストップを！

■杉並区のH29年度ベースでの1人当たり保険料額の試算結果

H29年度試算結果 法定外繰入前 (A)	H27年度 法定外繰入前 (B)	H27年度 法定外繰入後 (C)	伸び率 (A/B)	伸び率 (A/C)
152,823 円	149,779 円	121,983 円	102.03	125.28

※29年度ベースでの試算のため、30年度の保険料算定額とは異なる。
(東京都国民健康保険運営協議会資料より)

決算質疑では、厚労省が試算結果を受け、急激な保険料上昇が生じないよう都道府県や区市町村に対応策の検討を要請したことを紹介し、「自治体独自の繰入等を無くせば、住民に多大な負担が生じることは国も認めざるを得なくなっている。繰り入れは不可欠であり、杉並区として継続すべき」と求めました。

区は「法定外繰入は禁じられているものではない」と答弁。区独自の一般財源の繰り入れを否定しませんでした。

国民健康保険料額は来年の第1回区議会定例会に提案される予定です。今でも高い保険料の引き上げをストップさせるため力を尽くします。

繰り入れは必要不可欠 杉並区独自の継続を

この繰入が無くなれば、東京都が示した試算のとおり、加入者一人当たりの保険料はH27年度の年額12万1983円から15万2823円へと1.25倍、3万円も値上げになる可能性があります。

杉並区議会第3回定例会決算特別委員会では、来年4月から「都道府県化」される国民健康保険について取り上げ、都道府県化されても、区独自に実施している財政措置を継続し、保険料の値上げとまらないよう求めました。

国民健康保険制度の都道府県化の狙いは、区市町村が独自に行なっている法定外繰入（赤字補填や保険料軽減など）のために自治体の一般財源から投入）を無くすことです。

来年4月から国保の都道府県化 このままでは保険料大幅値上げへ

育メン日誌

300mのらくがきは圧巻

西荻女子大通り商店街のらくがき大会は、ご近所でもあり、毎年、家族で参加しています（私は消防団員として）。近隣の子も達が大喜びで参加し思い思いのらくがきをする姿には、心が和みます。それにしても、300mのバス通りがらくがきでビッシリと埋め尽くされるのは圧巻です。



イベント終了後、消防団の放水作業にも子ども達は大喜び。放水する方は、かなり体力を消耗しますが（苦笑）、実践的な訓練になりました。

西荻女子大通り商店街のらくがき大会 荻窪消防団第三分団が放水活動

11月5日（日）西荻女子大通り商店街において「300mバス通りが巨大キャンパス」として、らくがき大会が行なわれ、荻窪消防団第三分団も警戒活動とらくがき後の放水活動を行ないました。

このイベントは、300mの通りをすべて通行止めにし、道路を巨大なキャンパスと見立て、地域の子も達自由にらくがきをするダイナミックなイベントです。

イベント終了後には300mの通りにビッシリと描かれたらくがきを消防団の放水で洗浄。実際の消防用水利を使用するため貴重な訓練の機会になりました。



放水を担当しました。

荻窪消防団第3分団フェイスブックより